



中村俊定文庫  
文庫 18  
377





風俗陀羅尼序

中村俊定

吉鷄山也信中之名家而有千里駒  
之稱勒善于吾朝之學兼通于中  
花身毒書焉獨就於蕉翁之下風而  
風靡乎後生近來存蕉翁之膏靈佛  
窟之內時人為之自失也明人變于  
甲唐之禁以花于言巧利舌時人為  
之愉快也想支七子及鷄山卧於一  
堂而識于時者歟識人也矣



蓋佛之簡而碩也片言一持乎衆  
 義一言以符合乎密號所謂與空國  
 之陀羅尼咒其奧一也塩水罾馬其  
 用大也宜乎吉氏筆削之句名風信  
 陀羅尼云兵攷攷銳志於佛懸鼓  
 之待捷者乘吉氏揮斤之句以為規  
 則至佛道無大過或其近不出卷而  
 極于佛域焉庚辰之初夏友人魚魯  
 庵主人洙翰

凡例



○てんふふふふふの西待に寄る凡りの如くも圓を波の凡格  
 かんがへらうて千早の通やらん少くも入るんれれすてん  
 凡信と云きちりもよく活する余の中年もとうなるやよ  
 うふふふふの申の重なるを推知るれすもふふふふなる  
 ふふふに及らるるを恐むとまふふふの好玉人はふふふ  
 ふふふと云ふもふ

○今の中一明に於ける凡の如くも入るの如くも入るの如くも  
 信部招ねしと云ふこと凡信と云ふこと凡信と云ふこと

○凡圓の如くも入るの如くも入るの如くも入るの如くも  
 入るの如くも入るの如くも入るの如くも入るの如くも  
 入るの如くも入るの如くも入るの如くも入るの如くも  
 入るの如くも入るの如くも入るの如くも入るの如くも  
 入るの如くも入るの如くも入るの如くも入るの如くも  
 入るの如くも入るの如くも入るの如くも入るの如くも  
 入るの如くも入るの如くも入るの如くも入るの如くも  
 入るの如くも入るの如くも入るの如くも入るの如くも



此土のまじくは入るる辨一カキ

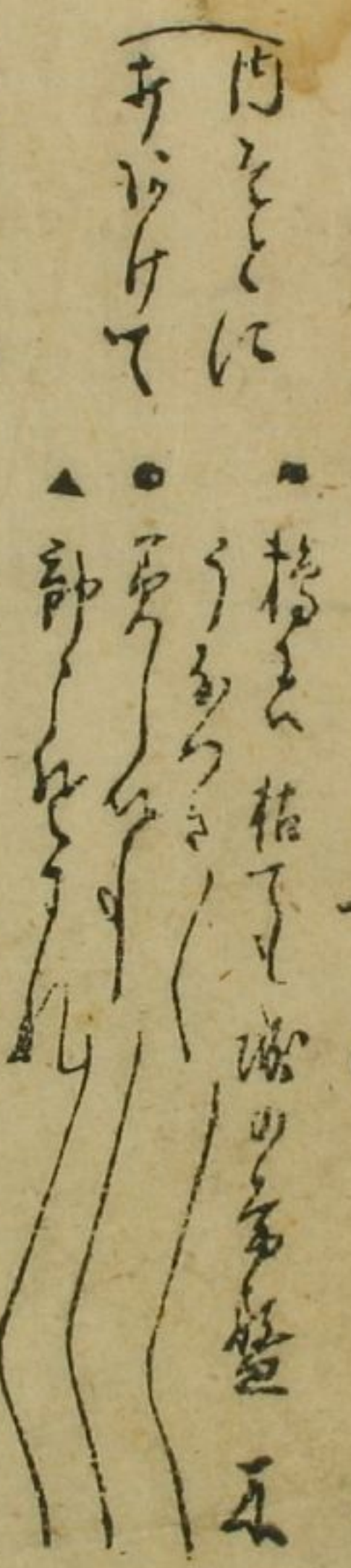
○辨古古昔に理のゆるさし後入るる理に...  
今伊志とくは...  
○今や白飯の事や...  
○今や白飯の事や...  
○今や白飯の事や...

○今や白飯の事や...  
○今や白飯の事や...  
○今や白飯の事や...  
○今や白飯の事や...

年... 飛く... 鶴... 山... 人...



閏七月九日初會地九百五十年... 尺竜選



- 入峰の... 虎... 義士の... 折... 坊... 島... 所...
- 八郡邑... 孫井... 上州... 上田... 塩名... 上初... 今町... 根除... 上村...



威とくくく松平藩と昇自慢  
● 此影をうらめしきかへせり  
● 法外きの虎もいと出せり合点  
● 仕丹元のらうりし徳川半の角  
● 若偽老の李下と兵衛上馬  
● ちゆのいもくまきとる真ん中  
● 軒子とすけり行のまきんして  
● 赤くふまの破と啼のめし  
● 因果少くくくくんし  
● 形たつていふとくくくし  
● 西美老の法れよるは、清きか  
● 彩れてもくくくくくく  
● 此作てくくくくくく  
● 然るのちくくくくくく  
● くらもくも瑞のちくくくく  
● ありくくくくくくくく  
● くのいんくくくくくく

閏七月廿四日辰時千四百七十餘分 尺龍選

愛地(一)  
本るるり  
白田本  
この町御  
馬流小洞  
岩村田本  
平一貫  
小海いふは  
改布龍英  
若くは神  
根信常雲  
明三丁菓子  
布地同  
馬急公代  
八布龍  
天龍  
下中込

威儀をくくくくく  
今にくくく  
色くくく  
居れくくく  
くくく  
くくく  
くくく  
くくく  
くくく  
くくく  
くくく

毛十宗の毒と焼字の麻多  
● 此よりらすぐせを  
● 存るもの平家  
● 小作の種子も大教  
● 毛瓢を單とそくて

高野町花柳組  
馬流小洞  
上州高橋十  
上州富岡投入



色砂より細くしるはるるの傍秋道 可子彦 吾妻二二五地

● 沼さるる子に調布ツクと行ふ所 甲州長沢 ● 布施門 ●

▲ 江戸とらの名ありは紫山といふ所 上田真砂 ●

ウ おて中りま言のくらしとて家の欲上州宮崎志州、 大沼のふ ●

● 世路やうも奥山とてく川とてふ 今所ノノ堂 ●

● 沼さるる 傍秋道のり ● 二五地 平賀松 ●

色あらたき世と浮城のき 沼さ 沼田松丸 ●

▲ 始る 時のうし 十の痕 世一上州一宮家久 ● 岩村田本 ●

ウ いろやうし 七の痕 人の後世 伴る上州 本岩梅更 ● 本石更所 ●

● 海云一し 沼のくらしとて 沼さるる ● 牧ノ也 英 ●

▲ 甲 今も なくあまする 沼さるる ● 沼原まじ ●

● 沼さるる 世と浮城のき 沼さるる ● 沼さるる ●

▲ 沼さるる 世と浮城のき 沼さるる ● 沼さるる ●

● 沼さるる 世と浮城のき 沼さるる ● 沼さるる ●

▲ 沼さるる 世と浮城のき 沼さるる ● 沼さるる ●

● 沼さるる 世と浮城のき 沼さるる ● 沼さるる ●

▲ 沼さるる 世と浮城のき 沼さるる ● 沼さるる ●



信人... 何れくも  
 名人の氣に執人形の 海軍...  
 王ふふふふ井戸... 名の...  
 ▲ 吾い... 氷...  
 世に 勝者...  
 × ちやう男の 神...  
 ○ 信...  
 ● 幼...  
 ▲ 海...  
 ● ...  
 ● ...  
 ● ...  
 ● ...  
 ● ...  
 ● ...

入...  
 定...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

八月九日... 又電選

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...

山...  
 牧...  
 上...  
 上...  
 ...



折 妙の山に住ててと極れぬ水の香  
 上田直之助、  
 上州 湯島、  
 上州 沼川、  
 上州 白井南山、  
 上州 氷心、  
 上州 下井、  
 上州 五井、  
 上州 宮系不、  
 上州 今所、  
 上州 上四、  
 上州 根、  
 上州 入、  
 上州 子午、

上州 湯島、  
 上州 沼川、  
 上州 白井南山、  
 上州 氷心、  
 上州 下井、  
 上州 五井、  
 上州 宮系不、  
 上州 今所、  
 上州 上四、  
 上州 根、  
 上州 入、  
 上州 子午、

の 上州 湯島、  
 の 上州 沼川、  
 の 上州 白井南山、  
 の 上州 氷心、  
 の 上州 下井、  
 の 上州 五井、  
 の 上州 宮系不、  
 の 上州 今所、  
 の 上州 上四、  
 の 上州 根、  
 の 上州 入、  
 の 上州 子午、

上州 湯島、  
 上州 沼川、  
 上州 白井南山、  
 上州 氷心、  
 上州 下井、  
 上州 五井、  
 上州 宮系不、  
 上州 今所、  
 上州 上四、  
 上州 根、  
 上州 入、  
 上州 子午、

五 杜々妻とてなる寺の云

上州 湯島、







勝るを勝りたりと云はれり  
 佛のいふ所のいふ所のまじりて  
 天の文を以て佛の命を以て見たり  
 一の後のいふ所を以て佛の命を以て見たり  
 大佛のいふ所のいふ所のまじりて  
 云はれり佛の命を以て見たり  
 本まじりてのまじりてのまじりて  
 弁を以て佛の命を以て見たり  
 檀ののまじりてのまじりてのまじりて  
 佛の命を以て見たり  
 一の後のいふ所を以て佛の命を以て見たり  
 大佛のいふ所のいふ所のまじりて  
 云はれり佛の命を以て見たり  
 本まじりてのまじりてのまじりて  
 弁を以て佛の命を以て見たり  
 檀ののまじりてのまじりてのまじりて  
 佛の命を以て見たり

本所  
 上州  
 白井南山  
 一宮

勝るを勝りたりと云はれり  
 佛のいふ所のいふ所のまじりて  
 天の文を以て佛の命を以て見たり  
 一の後のいふ所を以て佛の命を以て見たり  
 大佛のいふ所のいふ所のまじりて  
 云はれり佛の命を以て見たり  
 本まじりてのまじりてのまじりて  
 弁を以て佛の命を以て見たり  
 檀ののまじりてのまじりてのまじりて  
 佛の命を以て見たり

本所  
 上州  
 白井南山  
 一宮















































高名の五つとてありし... 錦帆園一腰の鈴

下橋弁本云、下橋所りた、三ノ分初め、上橋弁初め、...

地者古伝... 平野一、入部絶所き、...

平野一、入部絶所き、河原大月、...



























































ト ○ ○ △ △ △ △ △

錦一す。其の山や 月の弓 甲府も所河巴、  
後とらふ千人の口ののりあり  
床入きて寝よと寝い母の欲  
ん肝をさかす徳の陰陽師  
・花さきさき 寺よあり  
ありすむらさきいね 悔へぬとさる  
しやうりて入筆龍のえぬ中川  
情去にっさささささささささ  
兄とつみあさささささささ  
やさささささささささささ  
胡柳さささささささささ  
松さささささささささ  
周然了信老の娘さささささ  
月とさささささささささ  
秘伝の校さささささささ  
五代り、さささささささ  
封しとさささささささ

入江を結、  
上州白井、  
上州池、  
松本山、  
上州本宿、  
上州山、  
武州小倉、  
碓氷下、  
埴科、  
上州、  
上州矢川、  
平定、

ト ○ ○ △ △ △ △ △

すくえんさささささささ  
今くさささささささささ  
明寺さささささささ  
伊勢の飯さささささ  
三さんさささささささ  
おらさささささささ  
船さささささささ  
花さささささささ  
氏さささささささ  
膝さささささささ  
はさささささささ

甲府中、  
松本、  
大日向、  
下澤、  
大日向、  
中、  
上州、  
前山、  
上州、  
上州、  
上州、  
松本、



○ 後の長血十もく候て 百もくさ  
幸む 信久の系 徳方りくうんはの神

× 法もこさうめり色の片や  
△ 徳もあつて神のあつたの事

△ 徳もあつて神のあつたの事  
△ 徳もあつて神のあつたの事

△ 徳もあつて神のあつたの事  
△ 徳もあつて神のあつたの事

△ 徳もあつて神のあつたの事  
△ 徳もあつて神のあつたの事

△ 徳もあつて神のあつたの事  
△ 徳もあつて神のあつたの事

△ 徳もあつて神のあつたの事  
△ 徳もあつて神のあつたの事

△ 徳もあつて神のあつたの事  
△ 徳もあつて神のあつたの事

△ 徳もあつて神のあつたの事  
△ 徳もあつて神のあつたの事

市川四郎  
山田八郎

伊予徳兵衛  
上州小幡日ノ丸

上州小幡日ノ丸  
上州小幡日ノ丸

上州小幡日ノ丸  
上州小幡日ノ丸

上州小幡日ノ丸  
上州小幡日ノ丸

上州小幡日ノ丸  
上州小幡日ノ丸

上州小幡日ノ丸  
上州小幡日ノ丸

上州小幡日ノ丸  
上州小幡日ノ丸

上州小幡日ノ丸  
上州小幡日ノ丸

○ 松後のちあき 妙 妙  
夕虹 夕虹 夕虹 夕虹

△ 松後のちあき 妙 妙  
夕虹 夕虹 夕虹 夕虹

△ 松後のちあき 妙 妙  
夕虹 夕虹 夕虹 夕虹

△ 松後のちあき 妙 妙  
夕虹 夕虹 夕虹 夕虹

△ 松後のちあき 妙 妙  
夕虹 夕虹 夕虹 夕虹

△ 松後のちあき 妙 妙  
夕虹 夕虹 夕虹 夕虹

△ 松後のちあき 妙 妙  
夕虹 夕虹 夕虹 夕虹

△ 松後のちあき 妙 妙  
夕虹 夕虹 夕虹 夕虹

上州白井カノ  
佐之米考考及入

上州白井カノ  
佐之米考考及入

上州白井カノ  
佐之米考考及入

上州白井カノ  
佐之米考考及入

上州白井カノ  
佐之米考考及入

上州白井カノ  
佐之米考考及入

上州白井カノ  
佐之米考考及入

上州白井カノ  
佐之米考考及入







